

# 観光施策の年次レポート 2014 - 2015

石垣市企画部観光文化スポーツ局観光文化課

# 目 次

---

## 『観光施策の年次レポート』の目的

平成22年に策定された『石垣市観光基本計画』の推進を図り、諸施策の進捗状況及び各年次の観光施策に対して関連する各分野や立場（石垣市観光開発審議会）からの評価を受けること。また『観光施策の年次レポート』として公表することを目的として作成します。

I	石垣市観光基本計画の進捗状況	2・3
II	2014（平成26年度）	
	1. 観光入域客統計（平成26年）	4
	2. 平成26年度観光施策の成果	5・6
III	2015（平成27年度）	
	1. 平成27年度主な事務事業の執行方針	7-10
	2. 平成27年度観光施策の成果目標	11

# 「石垣市観光基本計画」進捗状況一覧表

2015. 5月

## 施策体系

**基本目標1** 「みる旅」「する旅」から「来るたび発見・また来なくなる旅」の確立を目指します。  
**主要方針** 1)観光交流拠点としての石垣島らしさの確立 2)新しい魅力づくりと発信 3)観光マーケティングの推進

◎:効果有する △:関連事業はあるが、弱い評価	○:該当、関連事業があり評価 ×:該当、関連事業無し又は不明	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備考
		該当事業(観光文化課)	関連事業	該当事業(観光文化課)	関連事業	該当事業(観光文化課)	関連事業	該当事業(観光文化課)	関連事業	
	○			公衆wi-fiの導入					石垣まちなか活性化戦略計画	
	○					USIO旅デザイン				
	○		民間クリーンアップ活動等		民間クリーンアップ活動等		民間クリーンアップ活動等			
	×			八重山ビジターズビュー						
	○		YVB		YVB		YVB		YVB	官民連携広域観光
	△	国際定期便シンポジウム								
	○		みなとまつり		みなとまつり		みなとまつり		石垣まちなか活性化戦略計画	
	△		クルーズ船連絡協議会		クルーズ船連絡協議会		クルーズ船連絡協議会		クルーズ船連絡協議会	
	○	国際定期便誘致事業		国際定期便誘致事業		国際定期便誘致事業		国際定期便誘致事業		通年運航、路線開拓
	○					外国語人材バンク		外国語人材バンク		
	○					観光動態調査				
	○		スポーツウェルカム・YVB		スポーツウェルカム・YVB		スポーツウェルカム・YVB		スポーツウェルカム・YVB	ロッテキャンプ、教育旅行誘致委員会
	◎	誘客プロモーション事業								
	△					観光ポータル強化事業				
	△			とぅばらーま	石垣市民俗芸能振興大会	とぅばらーま	宮良長包音楽祭	とぅばらーま		
	×									
	○	ダイビング協会補助金		ダイビング協会補助金 EV船導入補助		ダイビング協会補助金 遊漁船PR委託事業		急速充電設置		
	○		明石パラワールド		明石パラワールド		明石パラワールド		明石パラワールド	
	△									ゴルフ場開発計画関連 庁内連絡会
	◎	南の島の星まつり		南の島の星まつり		星空資源広報事業	南の島の星まつり	南の島の星まつり 星空資源広報事業		星空サミット、 星空ガイド

**基本目標2** 観光分野(観光ニーズ)とまちづくり分野(市民ニーズ)の融合による固有の魅力ある観光文化の創造を目指します。  
**主要方針** 4)地域の産業と観光の結び付けの強化 5)受入体制の確立

具体的施策	◎○△×	該当事業(観光文化課)		該当事業(観光文化課)		該当事業(観光文化課)		該当事業(観光文化課)		備考
		該当事業(観光文化課)	関連事業	該当事業(観光文化課)	関連事業	該当事業(観光文化課)	関連事業	該当事業(観光文化課)	関連事業	
21 農漁村民宿開業・生活体験支援	△					子ども農村漁村交流事業による活性化モデル事業				
22 戦略的地域資源活用産業と観光の連携	○				NUCHIGAFU		ハーブフェスティバル			
23 観光所得・雇用効果創出調査	×									
24 メイドイン石垣体感運動	△			USIOリデザイン	クリエイティブフラッグ		クリエイティブフラッグ		クリエイティブフラッグ	
25 石垣らしさを表彰する「YEAR OF ISHIGAKI(仮称)」の推進	×									
26 ヘルスツーリズム・リハビリ・エステ観光形態の促進	×									
27 ウェディング IN ISHIGAKI支援	○				星空ウェディング		星空ウェディング			
28 石垣島ミュージック&アート・クラフトコンベンションの開催	○	うたの日コンサート		TsunDAMIフェス				TsunDAMIフェス		

◎:効果有する △:関連事業はあるが、弱い評価	○:該当、関連事業があり評価 ×:該当、関連事業無し又は不明	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備考	
		具体的施策	◎○△×	該当事業(観光文化課)	関連事業	該当事業(観光文化課)	関連事業	該当事業(観光文化課)	関連事業		該当事業(観光文化課)
29	観光人材養成	△		ジョブシャードウイング事業		ジョブシャードウイング事業 八重山商工観光ツアー、クルーズ船寄港時通訳体験		ジョブシャードウイング事業 八重山商工観光ツアー、クルーズ船寄港時通訳体験		ジョブシャードウイング事業 八重山商工観光ツアー、クルーズ船寄港時通訳体験	
30	観光ユニバーサルデザインの取り組み	△			公衆wi-fiの導入						H23年度ユニバーサルツーリズム事業あり
31	ビーチ及び観光施設の整備	△				底地満足度向上 米原海岸情報発信	観光地施設再整備事業			観光施設再整備事業	ハード面に課題
32	地域のおもてなし向上の取り組み	×									
33	雨天の楽しみ方提案の取り組み	△					水族館構想			水族館計画策定	

**基本目標3 自然環境と人を最大の観光資源とする持続可能な取り組みを促進します。**

**主要方針 6)地域発展の源泉の保全観光地経営システムの高度化 7)観光地経営システムの高度化**

具体的施策	◎○△×	該当事業(観光文化課)	関連事業	該当事業(観光文化課)	関連事業	該当事業(観光文化課)	関連事業	該当事業(観光文化課)	関連事業
34 エコツーリズム研修システム確立の取り組み	×								
35 エコツーリズム推進法活用に向けた取り組み	×								
36 サンゴ礁に親しむ取り組み	○		サンゴウィーク		サンゴウィーク		サンゴウィーク		サンゴウィーク
37 修景快適性疎外要因の解消の取り組み	×								
38 景観形成に向けた取り組み	△		風景計画		風景計画		風景計画		風景計画
39 歴史的景観保存・活用支援の取り組み	△		風景計画		風景計画		風景計画		風景計画
40 観光まちづくりコミュニティ協定への取り組み	×								
41 サイクルロード・ウォーキングトレイルの整備	△					平久保エコロード構想			平久保エコロード構想
42 観光地マネジメント評価制度	△						地域づくりアドバイザー		
43 環境共生型観光への取り組み	△					保全利用協定の調整			保全利用協定の調整
44 環境保全資金に係る取り組み	△					JCの取り組み等			庁内でのワークショップ
45 石垣市観光白書(仮称)による年次報告	△			観光開発審議会				観光開発審議会	
46 観光立市(振興)条例の制定	×								
47 石垣市観光(交流)協会との連携	○					観光戦略連絡会		観光戦略連絡会	

◎:(達成)効果有する ○:(観光文化課)での該当事業や(観光文化課以外)で実施する関連事業がある。  
 △:関連事業はあるが、観光基本計画の目標達成要因としては弱いと評価。  
 ×:(観光文化課)での該当事業、(観光文化課以外)での関連事業が無い或いは不明とされる。

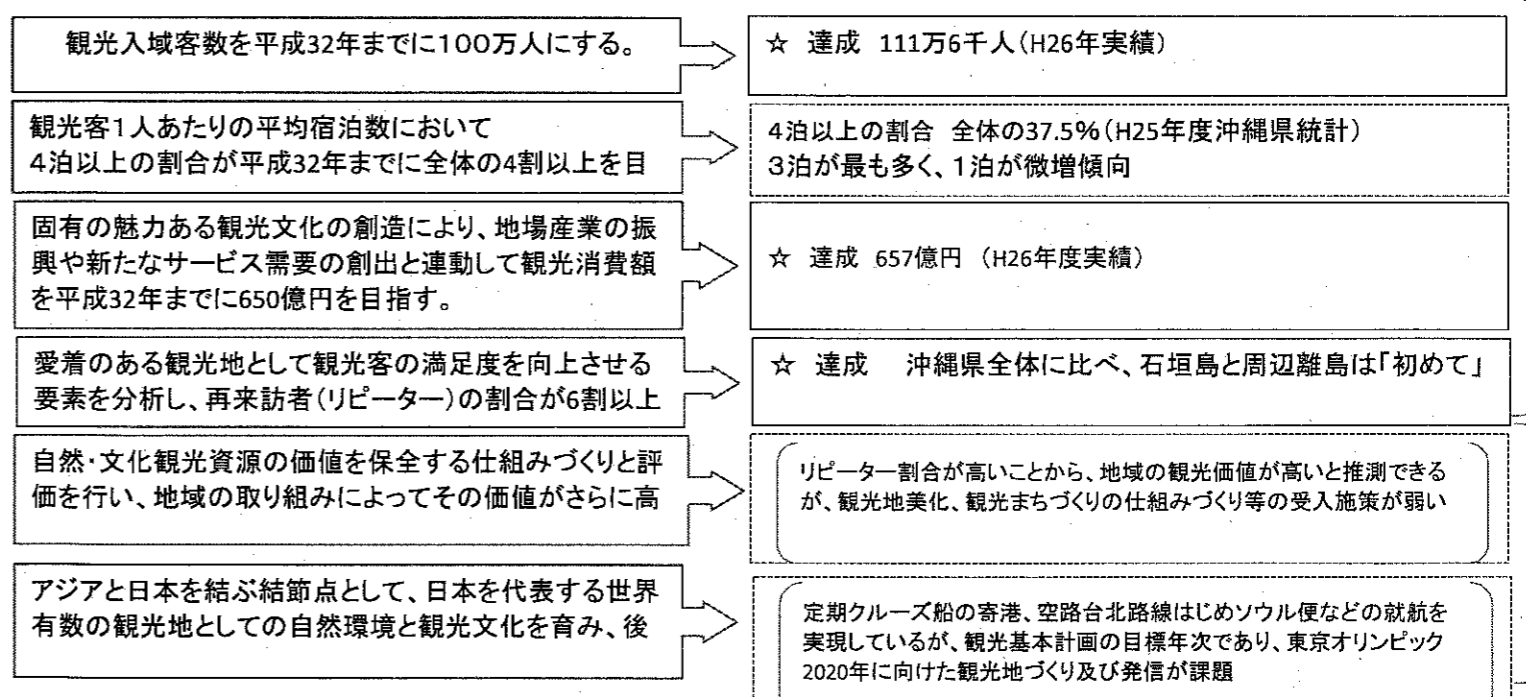
**(施策数)**  
 ◎:2  
 ○:16  
 △:18  
 ×:11

新石垣空港の開港キャンペーン施策は、入域観光客数の増、景況感の上昇など高い効果をあげたと評価できる。また、星空を観光資源とする施策も官民での取り組みにより、日本一の星空の宝庫石垣島を観光魅力として推進しており、今後の展開も期待できる。

石垣市観光基本計画の進捗状況は、47施策の内、約7割の施策が関連事業を含めて実施されている。しかし、達成度合いが弱い施策がある。

また、該当や関連する事業が不明と判断する施策があり、特に観光地美化、自然観光資源の保全や共生・再生、エコツアーや民泊への取り組み、そして観光従事者の地位や所得の向上を図る施策の実施が課題となる。

**目標フレームの達成状況**



定量的  
定性的

2014 (平成26年度)

# 平成26年石垣市観光入域推計表

平成26年 12月 の入域総数は 78,556 人で、その内観光客数は 61,567 人と推計される。  
 空・海路別内訳(観光客数)は、空路 60,584 人、海路 983 人となる。

## 概要

年間の主な出来事として、2月は石垣で初のプロ野球オープン戦が実現(千葉ロッテvsオリックスバファローズ)。3月は空港開港1周年を記念してTsunDAMIアイランドフェスの開催。4月は空港利用客が100万人を突破(開港後407日目)、ベストダイビング国内エリア部門において石垣島が14年連続1位に。6月には、石垣空港PR大使の岡村隆史氏(ナインティナイン)が空港PR大使に加え観光大使も兼務。

クルーズ船寄港回数は73回(H25年は66回)。うち、スーパースターアクエリアスは、4月から10月までに57回寄港(H25は66回)。  
 1月よりクルーズ船の入域カウント方法を県のガイドラインに則り、乗務員数を入域数としてカウントしている。前年までのカウント方法(=乗客のみ)であった場合、98,010人となり、空路(=945,298人)と合わせると、1,043,308人となる。  
 海路については、昨年の87,947人から98,010人となり、1万人あまり増加している。空路については、全体では昨年より11%増となっているものの、9・10・12月においては前年を下回っている。

## 観光入域客数・消費額

(単位:人)

	平成26年			平成25年			対前年比			消費推計額
	観光客数	内、空路	内、海路	観光客数	内、空路	内、海路	総数	空路	海路	
1月	56,279	56,279	0	43,737	43,737	0	128.7%	128.7%	-	40.9億円
2月	69,052	66,279	2,773	49,942	49,187	755	138.3%	134.7%	367.3%	48.7億円
3月	87,176	87,128	48	77,309	75,076	2,233	112.8%	116.1%	2.1%	63.9億円
4月	109,166	86,710	22,456	84,828	73,092	11,736	128.7%	118.6%	191.3%	60.9億円
5月	104,178	74,632	29,546	70,940	56,630	14,310	146.9%	131.8%	206.5%	51.3億円
6月	103,208	80,909	22,299	77,080	65,909	11,171	133.9%	122.8%	199.6%	54.7億円
7月	116,114	97,990	18,124	101,836	88,850	12,986	114.0%	110.3%	139.6%	66.2億円
8月	131,055	106,477	24,578	113,876	101,847	12,029	115.1%	104.5%	204.3%	71.9億円
9月	119,504	89,446	30,058	105,114	91,695	13,419	113.7%	97.5%	224.0%	61.3億円
10月	90,862	70,712	20,150	83,296	75,150	8,146	109.1%	94.1%	247.4%	49.6億円
11月	68,152	68,152	0	66,618	66,618	0	102.3%	102.3%	#DIV/0!	46.4億円
12月	61,567	60,584	983	62,448	61,286	1,162	98.6%	98.9%		41.2億円
合計	1,116,313	945,298	171,015	937,024	849,077	87,947	119.1%	111.3%	194.5%	657.0億円

## 路線別入域

	空路								
	東京	成田	大阪	神戸	名古屋	福岡	那覇	宮古	チャーター
1月	8,911	839	6,648	456	2,343	-	34,694	2,008	380
2月	9,090	1,068	7,693	649	3,033	-	41,944	2,560	242
3月	11,646	1,734	10,235	1,078	3,816	71	54,839	3,118	591
4月	15,596	-	10,662	-	4,385	1,924	50,086	2,852	1,205
5月	13,492	-	8,620	-	3,138	1,693	44,278	2,298	1,113
6月	13,924	-	10,175	-	3,192	1,855	48,157	2,345	1,261
7月	19,467	-	11,801	-	3,914	2,388	57,167	2,031	1,222
8月	24,382	-	12,602	-	4,054	2,862	59,178	2,223	1,176
9月	18,843	-	12,026	-	2,672	2,404	50,316	2,034	1,151
10月	13,566	-	9,423	-	3,084	1,639	40,088	1,952	960
11月	12,089	-	7,850	-	2,869	-	42,380	2,412	552
12月	11,799	-	8,291	-	1,954	-	36,807	1,733	-
合計	172,805	3,641	116,026	2,183	38,454	14,836	559,934	27,566	9,853

海路	
定期便	クルーズ等
0	0
0	2,773
0	48
0	22,456
0	29,546
0	22,299
0	18,124
0	24,578
0	30,058
0	20,150
0	0
0	983
0	171,015

平成26年度 観光施策の成果（沖縄振興特別推進交付金）

事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果(指標)	備考
			H26事業内容	H26活動目標(指標)		
1 ①	観光誘客プロモーション事業	H24 ～ H33	県外の主要都市及び沖縄県内において地元関係関係者団体と連携した観光誘客プロモーションを展開し、新規観光客の獲得めいつなげる。	・効果的なメディアへの露出 ・直行便就航地でのイベント等の開催及び出展	・観光入域客数111万人 ・メディア掲載件数11媒体 ・誘客イベントの実施11回（7都市）	(誘客、委託) ・第22回マリンダイビングフェア ・第21回ロハスフェスタin大阪 ・福岡メディアセールス ・鈴鹿8時間耐久レースでの石垣島PR ・仙台七夕まつり、歌津復興夏祭り ・北陸観光物産展 ・ANA福岡-沖縄石垣路線観光PRイベント ・peach恋の島、沖縄 ・TokyoMxテレビ「ゆるキャラに負けない」 ・大阪マラソンExpo (印刷製本) ・石垣島ガイドブック、多言語観光パンフ
1 ⑤	石垣島シネマフェスティバル事業	H24 ～ H33	八重山諸島で撮影された映画作品を集め上映する事により、映画、ドラマのロケ地としての島の魅力を広く国内外に発信する。	・シネマフェスティバルの開催 ・プロジェクターの購入	シネマフェスティバルの入場者数:5,000人 プロジェクター購入済	上映作品 (大ホール) ・ゼログラビティ ・イン・ザ・ヒーロー他 (中ホール) ・ていだかんかん ・ニライカナイからの手紙 ・サンゴレンジャー他 (展示ホール) ・スパイクッズ他
1 ⑨	石垣市民会館設備改修事業	H25 ～ H30	良好な環境を提供しやすい施設として整備することで、島内外のプロを始めとするアーティスト及び団体による公演の誘致を促進し、ファンをイベントツアーで誘客し島の魅力をアピールすることでリピーターとしての新たな観光客誘致につなげる。	・大ホールミキサー購入 ・石垣市民会館大ホール照明調光操作卓の購入	・ミキサー購入済 照明調光操作卓の購入済	
1 ⑪	南ぬ島空港観光案内所運営事業	H25 ～ H33	本市の玄関口となる空港ターミナル内において観光案内所を運営する。	観光案内サービスの実施	観光案内所サービスの利用者数:51,068人	観光交流協会委託常時3名体制
1 ⑬	石垣島観光物産PR事業	H26 ～ H31	新石垣空港開港後において、需要の安定化とリピーター層の拡大を図るため、満足度及び地元消費額の向上そして通年型の観光魅力を創出する各種取り組みを行う。国内個人客、海外からのインバウンド客向けの新たな観光コンテンツの創出を図る。	・開港後PR:消費額UP、ボトム期解消をテーマにしたPR(広報、広告) ・物産PR:モノ(名産品)を通して島内外のコミュニケーションの創出を図り、島の魅力を発信する。 ・ターゲット毎のPR:誘客セグメントを意識したPR(広報・広告の実施) ・星空資源の魅力を広報 ・ボトム期の集客コンテンツの創出(ベーターベン第9コンサート、新春花火大会)	・観光入域客数:111万人 ・観光動態調査報告書の策定 ・ボトム期集客イベントの開催による海外直行便の運航数2路線 ・広報効果:1年と通じて、各月の観光客数前年比増:12月(98.6%)以外達成	(業務) ・新空港観光利用100万人突破セレモニー ・ラジオ番組「アフタヌーンパラダイス&あの頃青春グラフィティ」公開放送1週間 ・石垣島ダイビングPRJROフレット作成 ・USIO旅デザイン ・メディア媒体を活用した観光PR(東海) ・石垣市観光PR広報制作(東北) ・外国人観光客向け観光人材バンク事業 ・観光物産PRに関する検証業務 ・観光PRパネルボード制作 ・観光遊漁船商品開拓事業 ・底地海水浴場滞在満足度向上事業 ・星空資源広報事業 ・石垣市プロモーション映像制作業務 ・観光の未来を考える観光動態調査 ・観光ポータルサイト外国人向けコンテンツ拡充業務 ・米原海岸情報発信システム構築業務 ・観光ボトム期需要創出事業補助金(ベーターベン第9コンサート) ・開港後広報委託業務(いちやれば結) ・日本最南端石垣島新春花火大会

平成26年度 観光施策の成果（沖縄振興特別推進交付金）

事業 番号	事業名	計画 期間	事業概要		H26成果(指標)	備 考
			H26事業内容	H26活動目標(指標)		
2	③ イルカふれあい事業	H26	「イルカふれあい事業」を誘致し、一緒に泳いだり、イルカによるセラピー等を行うことで、冬場も含めた新たな観光メニューを構築し、観光客を図る。	・生簀及び関連設備設置の補助	設置完了	
8	① 国際定期便誘致事業	H24 ～ H33	新石垣空港国際線施設を活かした就航路線の増便及び定期便化を実現するため、台湾・韓国・香港等の東アジア圏域を主な開拓市場とし、また台湾以遠からの誘致を視野に入れたキャリアセールス及び誘客イベントを行う。	新石垣空港国際線施設の活発化を図り、インバウンド客の誘致を推進して、通年を通じた国際線の就航定着化に取り組む	・韓国(ソウル)での石垣市観光PR単独イベント開催(9月) ・新空港国際線施設でのインバウンド客数8,348名	・平成25年3月開港以来のソウル＝石垣チャーター便が2月に運航 ・台北＝石垣路線冬季運航の課題が残る。



2015 (平成 27 年度)

# 平成27年度 主な事務事業の執行方針

観光文化課観光推進班

## 1. 概況

平成26年の観光客数は111万6千人と過去最多を記録した。好調な傾向にある要因として、①景況感の上向きによる国内旅行需要の拡大②円安による国内客の国内旅行需要へのシフト及び外国客の訪日旅行需要の拡大③沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）を活用した官民一体のプロモーション活動やメディア露出④南ぬ島石垣空港の開港による就航路線の拡大⑤新空港開港のPRに伴った、新規航空会社の路線開設⑥既存航空会社の中型機材の運航と増便⑦海路での定期クルーズ船の寄港が挙げられる。

観光の役割は、観光交流人口の誘致による経済市場規模の拡充と産業連関による観光消費額の向上であり、来訪者に安心安全で満足度の高い滞在を提供すること。そして観光振興を通じて地域の誇りを育むことにある。これらのことを鑑みながら、平成27年度は、開港後の国内需要の活況を継続させ、将来の国内人口の減少を見据えたインバウンド誘致に取り組むたい。

## 2. 課題

平成27年も継続した観光需要の安定化と観光による地域経済の活性化を目的に各種事務事業に取り組む。特に中長期的かつ重要な観光課題は観光関連事業者及び観光従事者の地位向上であり、そのことに資する観光人材の育成・養成等に着手したい。また本市が有する観光資源・商品・サービスや季節毎の観光価値といった着地型コンテンツや受入基盤を強化する施策に重点を置き取り組むたい。一方で、着地の魅力を発地にプロモーションする施策も継続課題となる。受入と誘客が一对となって効果を創出できるよう手法の検討を行い、集中と選択を図った誘客プロモーションに取り組む。

また、「第5次沖縄県観光振興基本計画（平成24年5月策定）」の数値目標、観光収入1兆円、入城観光客数1,000万人（うち国内客800万人、外国客200万人）の達成シナリオにおいて、本市及び八重山圏域が担う役割は大きく「沖縄観光推進ロードマップ」との整合性を図りながら、「石垣市観光基本計画」の一部改訂に着手する必要がある。

①観光人材の養成・育成

②観光コンテンツ・サービス・商品の価値向上

### 3. 事業の方向性

#### (1) 観光誘客プロモーション事業

##### ※一括交付金事業

###### (事業概要)

県外の主要都市及びターゲット地域に出向き、観光渡航先としての石垣島の観光魅力を対面プロモーションする。プロモーションの年間計画、ターゲット設定や実施手法を石垣市観光交流協会はじめ観光関係団体と連携して取り組む。

また、プロモーションに活用するツール作成、メディア媒体との連動PRや誘客イベントを開催することで、誘客需要の喚起を図る。

さらに観光ブランドや観光イメージの発信も本事業にて構築する。以上においてBtoCのプル戦略とBtoBのプッシュ戦略を用いて実施する。

###### (課題、背景、必要性、活動目標)

好調な観光需要の安定化を推進するうえで、発地サイドに出向いて、本市の観光魅力や観光コンテンツを継続してプロモーションする必要がある。また、効果的なプロモーションにつなげる観光地としてのブランディングが課題となる主な必要事項として、①提供航空座席の安定を図る、各航空会社との就航路線の利用率向上及び新規就航路線の開拓②観光閑散期における季節毎のプロモーション③本市とゆかりのある地域やターゲットエリアを絞り物産等のPR素材を活用したプロモーション④観光関連団体と連携したプロモーション⑤あたらしい旅のイメージやブランディング⑥クルーズ船誘致

###### (期待される事業効果、成果目標)

- ・閑散期11月・2月期の入城観光客数を2%増
- ・繁忙期7月・9月の入城観光客数を5%増

#### (2) 観光地受入基盤強化事業

##### ※一括交付金事業

###### (事業概要)

観光誘客プロモーション事業での発地向けと対となる着地型コンテンツの造成や観光消費額や観光満足度の向上強化を図る。観光資源（自然環境、商品、サービス、2次交通、観光地・施設、イベント、人材等）の通年や季節毎の魅力を活かした仕組みづくりや観光まちづくりに取り組む。

###### (課題、背景、必要性、活動目標)

観光客数の増加により効果が期待される地域経済の活性化やリピータの創出を推進する消費額や満足度の向上が必要となる。また、観光の質や満足度の向上を達成していくには観光従事者の育成・養成そして地位の向上（雇用の安定化、自

己啓発等)が課題となる。①外国人観光客向け人材バンク事業②公衆 wi-fi の価値向上③着地型コンテンツの造成支援④季節毎の観光魅力の創出⑤石垣市観光基本計画の更新を視野にした観光ビジョンの策定⑥観光資源の洗い出しと新しい付加価値の創出⑦観光地情報の発信⑧星空資源の広報⑨観光客への安心安全の提供⑩外国人誘客基本計画に基づく施策等が活動目標となる。

**(期待される事業効果、成果目標)**

- ・石垣旅プランへの参加者数：200名
- ・外国語講座の受講者数：90名
- ・星空学びの部屋来場者数：5,000名
- ・石垣島の星空資源を活用する観光事業者への啓発推進：10件
- ・二次交通を活用した周遊観光の造成等：1件

**※「石垣市観光基本計画」の一部改訂**

**(3) 南ぬ島空港観光案内所運営事業**

**※一括交付金事業**

**(事業概要)**

本市の玄関口となる石垣空港ターミナル内において、国内外からの旅行者を対象とした観光案内サービスを実施する観光案内所を設置して観光情報の発信を積極的に行うことで、本市観光窓口としての受入環境の強化と向上を目指す。

**(課題、背景、必要性、活動目標)**

安定した観光案内及び安心感を提供することで、観光地としての信頼度を高め、観光振興の基盤とする必要性がある。

**(期待される事業効果、成果目標)**

旅行者からの問い合わせや苦情を収集して、その内容を観光施策に反映する機能。また、観光案内従事者を確保することによる雇用創出と観光人材の育成効果。

- ・案内所サービスの利用者数：前年比5%増

**(4) 石垣島ミュージックフェスティバル事業**

**※一括交付金事業**

**(事業概要)**

観光閑散期に開催する規模感のある観光とエンターテイメントの複合イベント。本市の有するリゾート性を TsunDami (チューニング) と定義して、イベントへの集客を国内外にアピールすることを目指す。

**(課題、背景、必要性、活動目標)**

本市の観光魅力を高めるエンターテイメントコンテンツとして、観光大使や集客力のあるアーティストの出演を図る。また、インバウンド誘客も推進する。

イベントの価値を高めることで、個人旅行客に対しての旅行需要喚起と旅行会社に対してのツアー商品造成を促す。

**(期待される事業効果、成果目標)**

- ・チケット販売目標数：7千名

**(5) 国際定期便誘致事業**

**(事業概要)**

念願の国際線の通年運航が実現した石垣空港国際線施設の更なる就航路線の活性化と定期便化を図る。

**(課題、背景、必要性、活動目標)**

就航路線の活性化のために、台湾・香港・上海・韓国等の東アジア圏を主要な開拓市場とするが、通年運航する台北路線の安定化を図るために台北トランジットでの本市入域客を増加させる方法として台北以遠の欧米圏域も視野にしたエアポートセールス及び誘客プロモーションを行う必要がある。

**(期待される事業効果、成果目標)**

- ・国際線利用者数：対前年比20%増

## 平成27年度 観光施策（沖縄振興特別推進交付金）成果目標一覧【公表版】

事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
			H27事業内容	H27活動目標(指標)		
1	① 観光誘客プロモーション事業	H24 ～ H33	観光需要の安定化を図るため、県外の主要都市などターゲットとなる対象に出向き石垣島観光の魅力に対面プロモーションで紹介するほか、メディア媒体等を活用したPRや誘客イベントを開催する。	・ターゲット都市での観光プロモーションイベント等(11回) ・観光PRパンフレット作成(23,000部) ノベルティーグッズ(10,000個)の作成 ・ラジオ、雑誌等のメディアと連携した観光PR(5媒体)	・閑散期11月～2月期の入域観光客数を2%増 254,397名(H25.11月～H26.2月)→259,485名 (H27.11月～H28.2月) ・繁忙期7月～9月期の入域観光客数を5%増 366,673名(H26.7月～9月)→385,006名(H27.7月～9月)	観光プロモーションの実施により、石垣への観光需要を喚起する。
1	⑤ 石垣島シネマフェスティバル事業	H24 ～ H33	八重山諸島で撮影された映画作品を集め上映する事により、映画、ドラマのロケ地としての島の魅力を広く国内外に発信する。	・シネマフェスティバルの開催	・H27年度の目標入場者数:7,000人 ・H24年度の入場者数:3,733人 ・H25年度の入場者数:6,034人 ・H26年度の入場者数:5,000人	今後の展開方針 ・目標総入場者数8万人(累計) ・目標マスコミ媒体30社以上(年累計)
1	石垣島ミュージックフェスティバル事業	H25 ～ H28	観光ボトム期(閑散期)の観光需要を高めるため、本市の観光魅力をアピールするミュージックフェスティバルを開催する。	TsunDAMI(つんだみ)アイランドフェスティバル(2日間)を開催する。	・チケット販売目標数:計7千名 (前回H26.3月実績 4,433名)	イベントへの集客を国内外にアピールすることで、石垣への観光ボトム需要を喚起する。
1	⑨ 石垣市民会館設備改修事業	H25 ～ H30	良好な環境を提供しやすい施設として整備することで、島内外のプロを始めとするアーティスト及び団体による公演の誘致を促進し、ファンをイベントツアーで誘客し島の魅力をアピールすることでリピーターとしての新たな観光客誘致につなげる。	・石垣市民会館空調設備改修	・室温管理システムの構築 整備前→外気との温度差4度 整備後→室温25℃前後に調整可能 ・公演事業の誘致に際し、演じ易く鑑賞し易い環境の整備 ・熱中症の恐れのある環境からの脱却が図れる。	今後の実施予定内容等 ・H28年度:照明設備改修工事 ・H29年度:音響設備改修工事 ・H30年度:中央監視盤、非常用発電機設備改修工事
1	⑪ 南ぬ島空港観光案内所運営事業	H25 ～ H33	本市の玄関口となる空港ターミナル内において観光案内所を運営する。	・観光案内人3名の配置。	・案内所サービスの利用者数:基準年度対比 5%増 基準年度(H25年度)44,625人 →46,856人	観光客の利便性向上を図る。
2	観光地受入基盤強化事業	H26 ～ H31	着地型観光コンテンツの造成や観光地としてのサービス向上による観光満足度を高める仕組みづくりに取り組む。	・石垣旅プランの商品化及びキャンペーンを行う:2商品 ・外国語講座の開催:3か国語。1コース20回開催。 ・着地型イベントへの補助実施:南の島の星まつり・とぅばら一ま大会 ・星空学びの部屋の広報を行う。 ・星空資源を向上させる取り組みを行う。 ・二次交通(タクシー)を活用した周遊観光の取り組み及びマナー向上を行う。	・石垣旅プランへの参加者数:200名 ・外国語講座の受講者数:90名 ・南の島の星まつり、とぅばら一ま大会開催 ・星空学びの部屋来場者数:5,000名 (基準年度H25年度 2,893名) ・石垣島の星空資源を活用する観光事業者への啓発推進:10件 ・二次交通を活用した周遊観光の造成:1件	着地型コンテンツの造成や、観光諸費額や観光満足度の向上、強化を図る。 通年、季節ごとの観光資源の魅力を活かした仕組みづくりや観光まちづくりに取り組む。
8	① 国際定期便誘致事業	H24 ～ H33	新石垣空港国際線施設を活かした就航路線の増便及び定期便化を実現するため、台湾・韓国・香港等の東アジア圏域を主な開拓市場とし、また台湾以外からの誘致を視野に入れたキャリアセールス及び誘客イベントを行う。	・ターゲット地での本市PRイベントの実施(1回) ・海外キャリアセールスの実施(台湾2回、韓国1回、香港1回、以遠地1回)	・石垣空港国際線降客者数:対前年比20%増 8,640人→10,368人	インバウンド誘客増を目指す。 H33年度目標値4万人程度